



## 麻疹(はしか)感染拡大 ～ワクチン接種率が下がっています～

2月以降、国内ではしかの感染者が相次いで報告されています。これは、世界的にはしかが大流行していること、コロナ禍が終わり再び海外との人の行き来が盛んになったこと、コロナ禍で病院受診が控えられワクチン接種率が低下したことなどが要因と考えられています。

はしかは感染力が非常に強く(1人の患者から12～18人に感染を広げる)、発症すると肺炎や脳炎を合併して重症化したり死亡する怖い病気です。はしかには特効薬がなく、感染を防ぐにはワクチンしかありません。はしかのワクチンはMRワクチンとして、1～2歳の時と小学校入学前1年間の2回の定期接種として実施されています。コロナ禍の影響で日本での22年度のMRワクチン接種率は1回目95.4%、2回目92.4%と過去10年間で最低となっています。**国内で麻疹の流行を防ぐには95%以上の接種率が必要です。**接種率を高く保つことで地域での麻疹の流行を防ぐことができます。母子手帳で接種記録を確認して必ず2回の接種を完了するようにしてください。対象年齢を過ぎた人も任意接種としてMRワクチンが接種が可能です。2回接種を完了するようにしましょう。

### はしかワクチンの世代別接種状況

右図に示すように、50歳代以上の1972年(昭和47年)9月30日生まれまでの人は定期接種が始まっておらず、一度も接種をしていない可能性があります。この世代は小児期にかかっていることが多く、感染歴が不明の人は抗体検査を受けて免疫の状態を確認してみてください。それ以降の生まれでも20代半ば以上となる2000年4月1日生まれまでの人は定期接種が1回だけです。免疫が十分ではありません。母子手帳を確認して接種歴を確認したり、抗体検査を受けて免疫の状態を確認しておくことが大切です。心配な人は医療機関で相談してください。

はしかワクチン接種状況		
生まれ	予防接種	対策
～1972年9月30日	未接種の可能性	感染歴ある人以外 2回接種を
1972年10月1日～ 1990年4月1日	1回 (追加接種措置対象外)	1回のみの場合 追加接種を
1990年4月2日～ 2000年4月1日	1回 (追加接種措置対象)	1回のみの場合 追加接種を
2000年4月2日～	2回	2回未完了なら接種を

### 3月の感染症情報

B型インフルエンザが流行しました。中旬からはさらに患者数が増えて定点当たりの報告者数は20～30人となっています。新型コロナウイルスの発生は定点当たり2～3人と落ち着いており、コロナ禍はほぼ終息した感があります。

3月中旬からヒトメタとRSV感染症が増えています。発熱と同時に咳が目立つ乳幼児のお子さんには注意が必要です。



### 3月の利用状況

3月の利用延べ人数は56人、1日平均利用人数は2.8人でした。年齢別では、2歳児11人、次いで3歳児9人でした。疾患別では、インフルエンザBが最も多く、次いで急性上気道炎でした。インフルエンザによる入室が多かったため、3月は小学生以上のお子さんのご利用が目立ちました。

4月は進級、進学の時節です。冒頭で述べたようにコロナ禍の影響で麻疹を含め定期接種ワクチンの受け忘れのお子さんが目立ちます。新たな旅立ちのこの時期に母子手帳の予防接種記録欄の確認をお願いします。